


たんぽぽ



NO.41
H2.10.31
—飛行—
〒869-12
熊本県菊池郡
大津町森54-2
社会福祉法人
三気の会
三気の里
TEL096
293-8100

自閉症療育セミナー（その一）

理事長 田中 稔

三気の里を開所して3年が経ち、一応落ち着きましたので自閉症児者に拘わっておられる方々と勉強会をやる事にしました。

今回、小さな法人『三気の会』が呼び掛けました療育セミナーに約百五十名の方が参加されました。この事自体が現在尚、自閉症という障害が困難である事を示しています。

従来、講演会等がやむを得ない事として『自閉症とは何か？』という総論的なものでした。今回の主旨は、親も含めて療育に直接拘わっておられる方々が『より実践的に』『より具体的に』『より各論的に』勉強するという事でした。沢山の参加があったのは講師とし

て来熊された《石井 聖》先生への興味、期待が大きかった為と思えます。

石井先生は東京国分寺市に小露路治療教育研究所を開設され、『国分寺に石井あり』といわれる自閉症療育の優れた実践者の一人です。『自閉を活かす』（学苑社）等の著書もあります。研究所は、私塾の様な形式と聞いています。この事が従来の教育、医療、福祉の枠や制度に縛られない自由な発想や行動や療育法につながっています。石井先生のすごさは、ゼロから自分で私塾という形で事業を起こし、自閉症への論理を組み立て、治療法を作り上げておられる事です。障害児を持つ親は疑ぐり深く、移り気です。その様な親から子供を預かって療育し、結果を出して

います。結果を出さなければ事業を続けられないし、メンが食えないという状況は一般の教育、医療、福祉の世界に比べ厳しいものです。それをやり抜いておられます。既存のものからはみ出しているからこそこれだけのエネルギーが生まれて来るのかも知れません。独創的な仕事は一般的な学会等には受け入れられにくいものです。

石井先生の仕事を支えている職員が又、素晴らしいのです。今回二人の女子職員が同伴し実技の手伝いをされました。親も含めて人は、療育の場で人前に立つというんなものが災いしてしまいます。学歴とかプライドとか恥ずかしさとかです。これらをズバツと捨て、ドーンと凄い迫力で石井先生の考え方を実践しています。

『自閉症児者にわかってもらいたい！』という思いがこれだけの『迫力』『真剣さ』を生んでいるという事です。

午前10時から午後4時30分まで

殆ど立ちっぱなしでビデオ、実演も入れて石井先生の素晴らしい療育の一端に触れる事の出来た充実した一日でした。

療育シリーズ

ウップス

園長 土井尚典

東京の江戸川区で、一人暮らしのお年寄りに電話サービスする傍ら、英語の塾を開いている筋ジストロフィーのハンディキャップをもった友人がいる。彼が「英語の勉強をしているが、知っていても、なかなか自然に出て来ない単語があるんだよ。ものを落としそうになったとき《ウップス》言えれば良いのだがなー」と言ったことを思い出した。きっかけは、園生の久美ちゃんが食事の時間に皿を落としそうになって、「おっとととと」と言ったとき、驚いて感心していたときである。

職員はものを落としそうになったとき、まだ落ちもしていないの

に「キヤーツ」と言っただけで人を驚かすものであるが、園生がそういうことをする場面を殆ど見掛けない。「ガチャーン」と音がして呆然と立ちつくしている園生は見掛けたことがなんどもある。職員にたずねてみたが、そう言えば見たことないと言うのである。自閉症でない園生は言いそうな気がすると言った。私は自閉症の一人である。その一回はおやつを両手で胸の所にたくさんもって、一つが落ちそうになり、腰を屈めながら落とすまいとして「おーっ」といった場面である。

園生に関する観察によると、まさに落ちそうになったとき、自分で気が付いている場合は必死で落とすまいと最後まで努力しているようである。職員のように落ちそうになって、「キヤーツ」と言うだけで、落とすまいと努力していかないのは、一種のパニックである。「おっとととと」や「おーっ」と

は落とすまいとしながら発する言葉のようである。園生は言葉を発すると発しないに拘わらず、ものを落としそうな場面ではパニックになりにくいということになる。自閉症だからということもないようである。

手に持ったものを落としそうになって発する言葉を探してみると、「おっとととと」「おーっ」の外に「ウツ」「オツ」「ワツ」などたくさんあるようだ。何故、言葉（発声）を発するのか、いろいろ考えたり、人に聞いてみたがなる程という答えは見付からなかった。

潔くんのお母さんが、暗がりですくんとぼったりはちあわせをした時に「ウオーツ」と驚いたそうである。「自閉症の子でもびっくりするんですね」と話されたことがある。この話を職員にしたところ誰でもそうだと返事が帰って来た。暗がりを平気で歩く園生も暗いところでひよっこり出会えばやっ

ぱり怖いのだろう。

視覚的に予測出来ないことがこわいのかなと推測したり、「ウオ—ッ」と言った時は脳の言語分野でもびっくりしたのかなと思ったり、英語の好きになっちゃんだったら「《ウップス》と言うかな？」と空想すると楽しくなってきた。



バスハイク

伊石美鈴

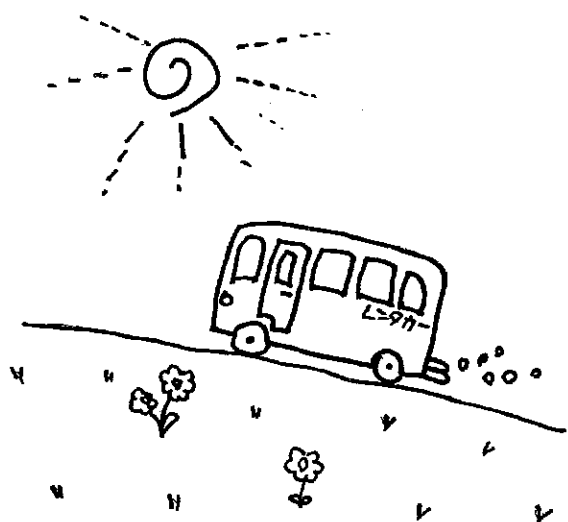
10月18日木曜日、天気は気持ちの良い秋晴れの下、グリーンピア南阿蘇に三気の里のすてきな面々と、この日の為に都合をつけて下さったボランティアさんを含め90名もの人が集まった。

三気の里開所以来初めての試み、ミニ運動会をしよう。

うれしそうにお弁当をほおぼる子供達に比べレクリエーション担当の職員の緊張した顔。ちびっこ広場で園生がバラシュートや遊具等で遊んでいる間、6人のレクリエーション担当職員とボランティアさんがくもの子が散らばるようにサツと散らばり運動会の用意に取りかかった。あれよあれよと言っていううちに予定時刻となり、担当職員、ボランティアさんの顔には、「やるぞ！」という意気込みが感じられる。特にこの日の司会を任された清田指導員は、前日から寝付けない程の緊張ぶり。

準備体操のダイナミックリズム、ダンスそして三気の里お得意の大玉転がしと競技は続きます。そして今回の見物、むかで競争では、横揺れを利用した1班が1位、2班が練習の成果を発揮できず2位でした。園生リレーでは、予想通り4班が1位、3班が2位、以下2班が3位1班4位でした。力競争綱引では、さすがに4班が圧勝

2位2班、3位がなぜか1班、4位3班となりました。競技も大詰めに迎え、職員・ボランティアリレーでは、レクリエーション担当職員の心暖まる指示で両足をひもで結んで走りました。田之上指導員の両手両足走行は、みんなの注目を浴びました。色々なハプニングがありました。とても楽しい運動会でした。ボランティアの皆さん本年もがんばろうね、みんな。



3 班 作品展示即売会

作品展示即売会、3班にとって年に1度のかき入れ時とあり、作業する手にも力が入り、作品作りに躍起となる日々です。メインのスノコ作りは手順も慣れ製品自体も上達して来ましたが、当日間に合うようにと頑張った園生と職員のためにもたくさん売れて欲しいものです。去年から出しているヒット作、枝豆は手入れの行き届かない中、久木野の畑で辛抱強く、たくましく、雨にも負けず、風にも負けず、草の嵐にも負けず育ち、めでたく収穫することができました。畑を貸して下さっている興呂木さん、ありがとうございます。この場をお借りしてお礼を申し上げます。休み返上で協力してくれた職員もありがとうございました。来年も頑張るぞ。

田之上

4 班 夢のあとおし

暑かった夏も台風が過ぎ去るごとに涼しさを増し、今では朝夕はめっきり冷え込むようになった今日このごろですが、我が4班にとっては、待ちわびていた実りの秋、収穫の秋の到来です。そこで現在の畑の様子をお知らせします。

まずは上段の畑に植えているのが白菜で11月半ばから後半にかけて収穫予定です。次に中段がさつま芋で11月前半には収穫でき、下段には大根、ほうれんそう、えんどう豆、山芋（自然薯）など、所狭しと植えられています。特に山芋は（掘ってみないと何とも言えないが）お歳暮にはもってこいの一品になると思います。また漬物を漬けられる家庭では、白菜や大根は欠かせない品ですよね。ぜひお買い求めの際は4班職員までご一報下さい。“10年後には東京旅行を”を合言葉にして頑張っているメンバーの夢の実現の為に皆さんの後押しの協力をお願いします。

木下

5 班 秋は商売！

秋も深まり、三気の里の周りの田は、稲刈りも済み、稲藁だけが、あちこちに見られるようになりました。

最近、5班では、農家の方々より、手伝いに来て欲しいという情報がちらほら舞い込んでおります。作品展示会に行かれた方は、ご存じかもしれませんが当日、販売された珍しい黄色いコスモスは、ハウス栽培の手伝いに行って戴いたものを、もったいないと販売したところ、大好評をはくしました。買って戴いた方には、紙面を通じてお礼申し上げます。

現在、から芋の収穫の手伝いに、我ら5班のメンバーと、4班の冨田さん、那須さん、2班の神沢さんらに加わって、元気良くでかけています。地下足袋姿の我ら、松島さん、たっつぁんの姿の頼もしさ、みかけたら声をかけて下さい。「大統領！」と！

坂井



1 班 食欲の秋、芸術の秋…草木染め

1 班の作業収入は主に洗濯仕分けですが、9月より草木染めで作業収益をあげようと取り組んでいます。ところが、思ったよりこれが難しくなかなか思った様にいきません。まだ始めて間もないので作品という作品が出来ていませんが、すすき、栗のイガ等で染めてみました。今までにすすき等煮た事が無かったのでこんな色になるのかと新たな発見もあります。園生のみんなは、なぜ栗の実でなくイガを煮ているのかと不思議そうに鍋の中を覗いています。金儲けの下手な1班としては、是非成功させたいとはりきっています。現在、コースターを試作中です。作品が出来上がったあかつきには、どうぞお買い求め下さい。

P. S. 畑にはさつま芋が実りました。こちらもよろしく!

“1班のお芋はいらんかね〜”

武藤

2 班の秋はぎんなん拾いから

日1日と秋が深まる中で、2班は、運動場にあるイチョウの木より、例年のごとく、自然の恩恵(ぎんなん)を受けています。特に今年は粒が大きくきれいで、思わず、気合が入ってしまいます。といっても、みんなはぎんなんにまけるかもしれないので、取っているのは職員なのですが…職員がぎんなん拾いに熱中している間、みんなはというと、運動場の草を、これもまた熱心に取り替えてくれています。ぎんなんは取れ、運動場はきれいになるという一石二鳥の作業を秋晴れの空の下、毎日頑張っているのです。みなさんも、秋をぎんなんで、味わってみませんか。まだたくさんありますので、欲しい方は、ぜひお知らせ下さい。

橋本

食良堂営業中

バスハイク

十月十八日木曜日、普段より寒さが増した様で（いつもより30分早いせいかも）これではいけないと、厚着のうえに上着をもう一枚。十一時頃。いよいよ出発。寒さも和らいで絶好の秋日和になりました。園生、職員は元気良くマイクロバスに乗り込み、私と坂井さんは三気号でグリーンピア南阿蘇へと向いました。少し遅れて十二時頃到着。すでに園生たちは、チビッコ広場で遊び、走り回っており、おなかもすいた様です。早速昼食になりました。景色を眺めながらの食事は、やっぱり最高においしくみんな黙々と食べていました。余っていたお弁当一食分お代わりした園生や、みんな食べ終わり、広場での遊びも終わりがけた頃も一人ずつと食べていた園生もいました。みんな残さず奇麗に食べた様でした。運動会は盛り上がり、楽しい一日となりました。金丸

研修修報出口

雨の中の行軍

坂井省英

夜が明けた。昨夜からの嵐はおさまらず、天候の回復は見込めないまま、下山を決定。青年小屋と権現小屋の主人が協力してくれるという（百人力）。

下山の準備。おしっこは大変で強い風の中、おしっこが顔に当たるなど大わらわだった。全員カッパを装備。子供の中に、カッパを忘れたものもいたが、ゴミ袋をうまく活用した。

6時半下山を開始。足の痛みはあるものの、靴下を重ね、登山靴を履くと不思議に痛みは軽くなった。風の強さ、恐怖と緊張で、足の痛みも忘れて下っていた。

切り立った山道を一人一人確保しながら、くさり場や坂道では走り出しそうになるのを懸命にブレーキをかけ歩いた。スタッフは大声で注意を促すが子供達は気にもせず平気で歩く。山小屋の主人が

切り立った道を歩いて「ここから落ちたら300メートルくらいは落ちてしまうので助からないよ。もう少し降りると落ちてても1000〜200メートルくらいで止まるから大丈夫。」だという。よく聞いてみると300メートル以上だとバラバラになった死体を救出に行くのは至難の業で、行くのも大変で1000〜2000メートルなら死体を拾いに行くのが楽なんだというのである。思わず足から力が抜けた。



風雨の続く中、子供達の足取りは確実で、一糸乱れぬ体列の光景が素晴らしかった。8時20分、青年小屋に到着、冷えた体をストーブで暖め、滋養のある朝食を頂き、十分休養をとった。

天候から、予定のコースは取りやめ、そのまま往路を戻ることとなった。10時、青年小屋に残った11名を加え下山開始。急な坂道を終えたという安堵感もあり、身も心も軽く、掛ける言葉も大きく、増えていた。途中昼食をとったが、さすがに子供達は疲れているようで、食欲もあまり見られず、じつと座っていた。小1時間程で、ふもとの観音平にたどり着いた。

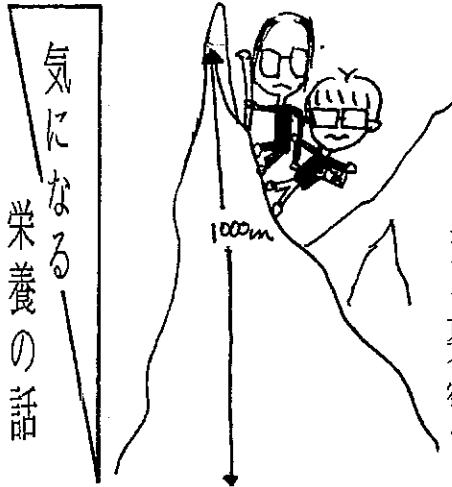
一泊二日の登山も終盤を迎え、ようやく不安と緊張から解きはなれた。振り返って権現岳を望むと、山頂付近は、厚い雲にすっぽり覆われ、ふもとは晴れ間も見える程で、山の天気はとても不思議に思えた。

無事、日野春に着き、残ってい

た子供達に歓喜の声で迎られることができた。

《追伸》大変な登山でしたが、なにせ1000メートル越える山を自力で登ったのは、何を隠そうこれが初めての私。他のスタッフに多大な迷惑をお掛けしましたことをおわびし、お礼を申し上げます。是非、もう一度！

コロロ夏合宿より



気にならぬ 栄養の話

いよいよ秋の味覚到来。大津町でも自慢のさつま芋がおいしい季節です。今回は、いも類の中では一番栄養的に優れているいも類の王様についてお話しします。

さつま芋の特に黄色の色の濃い物は、カロチンをたくさん含み、体内でビタミンAの働きをします。繊維も多く含まれていますから、便通を良くします。

他の芋に比べて甘味が強い為、間食や主食代用にも出来ます。調理法も多く、丸焼きにして食べるのが一番おいしく、りんごと一緒にバター、砂糖を加えて煮たり、きんとん、甘辛煮、パイ、あめ煮等があります。また、揚げ物、丸のままふかしてもおいしいですね。問題は、エネルギー制限のある特に肥満症、糖尿病の方は、注意して食べて下さい。糖質が多くエネルギーの高い食品です。

さあ、食欲の秋です。食べ過ぎに注意し、楽しい食卓にしましょう。

牛嶋



11月の行事予定

1(木)	11(日)	21(水)保護者会研修会
2(金)	12(月)	22(木)
3(土)前	13(火)	23(金)2班キャンプ (-24)
4(日)	14(水)	24(土)シャツ交換 帰宅バス
5(月)	15(木)3班の 防災訓練	誕生会 25(日)
6(火)内科検診	16(金)5班の	26(月)
7(水)体重測定 血液検査	17(土) ↓	27(火)
8(木)4班の	18(日)	28(水)
9(金)	19(月)	29(木)1班の
10(土)帰宅日 シーツ交換 保護者会	20(火)	30(金)大掃除

※第1、3土曜日療育相談 ※21(水)保護者会研修会:志摩学園

ぼらんていあ通信

ぼらんていあありがとうございます

10月10日学習会(山登り)

岩下元美 甲斐芳恵 北添泰生

宮崎直子 藤原美保 森 隆子

林 陽子 右働智富美

永井ひろみ 井口さん

10月18日バスハイク

宮崎直子 橋本明子 永井ひろみ

米田和美 富田裕子 山名恵美

宮木順子 西村撰子 宮原早代美

上田健一 松尾典征 麻生由起恵

渡辺房代 林田英子 東 典子

鈴木和幸 星野彰子 東 尚美

森 隆子 松野千衣 敬称略

十月十日、体育の日。絶好の山登り日和でした。一班の園生と職員、それと八名のボランティアさん、総勢二十五名で阿蘇ミルクロードの西側に位置する〃鞍岳〃登頂を目指し出発しました。途中、いくつかのポイントがあり、そこには秘密のプレゼントが用意されていました。(フッフ、

きやらめるとヤクルトです。)

しかし、もっと素敵なプレゼントがあったのでした。・・・昼食も

終わりという頃、突然皆の目の前に小さな灰色うさぎさんが!

えっ、それから?もちろんつかまえましたとも!(この手で)その後、皆に惜しまれながら草薺の中に消えて行きました。

空は、とっても青く高く、山頂からは遠く雲仙の山々が見え、海が白い波をキラキラ反射させていました。

やろう会十一月の日程

1(木)神沢・橋村・金森

8(木)中村み・竹下・渡辺し

10(土)中村き・藤崎・有馬・安部

15(木)林・井口・井手上

22(木)村上・満塩・島津

23(金)光山

29(木)坂田・伊石・甲斐

いつも、お手伝い御苦労様です。

編集後記

風がとて冷たく、街は早くも

クリスマス風の装いです。寒さにく

じけそうな今日のごろです。浮